

# 自治大卒業生の声

自治大学校卒業生（税務専門課程税務・徴収コース第20期）

埼玉県朝霞市 佐々木 美江子

編集者注：本稿は、自治大学校における研修の特長などについて、自治大学校の卒業生が記したものです。

## はじめに

青天の霹靂とはこういうことでしょうか。徴収実務経験ゼロ、そして納税管理といういわば裏方の私に、税務専門課程（税務・徴収コース）研修のお声がかかるとは驚きしかありませんでした。

知識、経験どれをとっても自治大学校の授業や課題についていける自信はどこにもありませんでしたが、納税管理から受講させていただける機会は、後にも先にもないことだと思い、意を決し参加させていただくことになりました。

そして入寮日、秋晴れの空の下、事前に配布された教科書を載せたキャリーケースを汗だくで引っ張りながら、不安だらけの気持ちのまま自治大学校の門をたたきました。

## 授業について

1か月のカリキュラムは大まかに、大教室での授業、事前検討課題のグループ演習、レポート作成演習、ロールプレイング演習、事例紹介に分かれており、朝の9時25分から大小の休憩を挟みながら70分授業を約5コマという構成でした。また卒業式当日の午前中までレポート提出のためのレポート作成演習があり、卒業の余韻に浸る時間はほぼなく卒業式を迎えました。

大教室の授業は、徴収にかかわる民法の総則などの基礎授業から滞調法、民事執行法まで様々な徴収に関連する各法や、先進自治体の事例や取り組みに関する講義、徴収のデジタル化や実務での徴収部門の管理

職としての在り方など多岐にわたる豊富な構成であり、各分野で活躍されている先生方の講義を受けることができ、非常に充実した内容でした。

また教室当番もあり、配布資料の準備や先生の送迎、日誌の作成、号令、水の準備等をこなします。

授業の合間には、先生や他の研修生全員と名刺交換したり、ストレッチをして身体を動かしたり、喫煙タイムに充てたりと各々自由に過ごしていました。

事前検討課題のグループ演習では、周りの研修生の知識量、経験豊富さ、そしてこの研修への熱量に驚かされたのは言うまでもありません。「〇〇法の第△△～があるから～」といった根拠法令や専門用語が飛び交い、目が回りそうでした。



## 宿舎生活について

宿舎生活では、規律を守ることはもちろん、常に新型コロナウイルス感染症対策の徹底を意識しました。

54名が麗澤寮2階から5階までの4つに振り分けられ、女性はその内の2フロアに

約半々で滞在しました。平日は外泊禁止でしたが、放課後には外に出ることができますし、休日には外泊届を提出すれば帰宅もできました。

パソコンは一人一台貸与で、環境面ではフリーWi-Fi、OA機器はもちろん、洗濯機に乾燥機、トイレ掃除道具や掃除機もありました。少し残念だったのは、老朽化により大浴場が使用禁止になってしまったことと、以前は各フロアにある談話室で、ホットプレート等で調理ができたのですが、新型コロナウイルス感染症対策のため、ポットのお湯とオープンレンジしか使えなかったことです。

そんな状況下でしたが、各地から続々と送られてくるご当地の美味しいお菓子やお酒をいただきながら親睦を深めました。

後半にさしかかると、レポート作成が大詰めで部屋に籠ることもありましたが、一人が談話室にパソコンを持ってくると、次から次へと集まり、みんなで情報交換をしたり、励ましあいながら切磋琢磨しました。

私は一人で部屋にいるよりも、同じフロアの研修生と一緒にいる時間の方が長く、毎日あっという間に消灯時間になってしまう日々を過ごしていた気がします。

他のコースの方と親交を深めたり、全体の懇親会に参加したり、女子会もありました。さらに、休日には有志で栃木県の日光東照宮へ車を走らせたりと、書ききれないくらいとても充実した1か月を過ごしました。

## おわりに

コロナ禍でひとりも欠けることなく54名揃って卒業ができ、喜びもひとしおでした。卒業式での校歌静聴では、校歌の内容がこの1か月の自治大学校での生活に重なり、いろいろ思い出しながら泣きそうになりました。

自治大学校を卒業するときにフロアの仲間と「福岡で会おう」という約束をしてから

早数か月経ちましたが、まだふとした瞬間に、自治大学校の校歌がリフレインすることがあります。

社会人になってこれほど長い時間を勉強に費やすことができ、日々、寝食を共に過ごし、語り合うことができたたくさんの仲間と出会えたことは、本当に貴重な経験だったと思います。

最後になりますが、研修中にご講義、ご指導いただいた先生方、研修生活をサポートいただいた自治大学校の職員の皆さま、共に過ごした仲間たち、そして多忙を極める中、長期の研修に快く送り出していただいた所属の皆さまに改めて感謝の気持ちをお伝えして締めくくりとさせていただきます。本当にありがとうございました。



卒業式後、フロアの仲間と担当してくれた自治大学校職員とともに。